

第2期

松阪市国民健康保険保険事業実施計画

(データヘルス計画)

<2018年度(平成30年度)～2023年度(令和5年度)>

中間評価

令和3年3月

松阪市

目 次

第1章 計画の基本方針	
1 計画の背景と位置づけ	2
2 計画期間	2
3 第2期データヘルス計画の目的・目標	2
第2章 第2期データヘルス計画の中間評価	
1 松阪市の人口と国民健康保険加入者数の推移	3
2 松阪市の平均寿命と健康寿命	4
3 松阪市の医療費	4
第3章 保健事業の取組と中間評価	
1 特定健康診査未受診者対策事業	5
2 特定保健指導事業	6
3 がん予防の普及・啓発事業	7
4 糖尿病性腎症重症化予防事業	9
5 COPD（慢性閉塞性肺疾患）予防事業	10
6 医療費通知事業	10
7 ジェネリック医薬品普及促進事業	11
8 重複・頻回受診者の適正受診指導	11
9 健康づくりイベントでの啓発	12

第1章 計画の基本方針

1 計画の背景と位置づけ

わが国では国民の健康保持増進の重要性が高まる中、「健康日本 21」「健康日本 21（第二次）」のスタートや医療保険者による「特定健康診査等実施計画」の策定および見直し等により、特定健康診査・特定保健指導や保健事業を実施してきました。さらに、平成 25 年 6 月に閣議決定された成長戦略「日本再興戦略」を踏まえ、各保険者は平成 27 年度から第 1 期データヘルス計画の策定と、それに基づいた保健事業の実施と評価が求められる事となりました。

松阪市でも、被保険者の健康保持増進と医療費の適正化を図るため、国民健康保険の現状を分析し、保健事業の実施と評価を行うための事業計画として、平成 27 年度に「松阪市国民健康保険事業実施計画（データヘルス計画）（第 1 期計画）」を策定し、生活習慣病予防等の保健事業に取り組んできました。

また、平成 29 年度に策定した「第 2 期松阪市国民健康保険事業実施計画（データヘルス計画）（以下、第 2 期データヘルス計画）」では、本市の将来像として定めている「松阪市総合計画～住みやすさ進行中！バージョンアップ松阪～」の実現を具体化する個別事業の一つに位置づけ、被保険者の健康保持増進の観点から、健康・医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業を実施してきました。

2 計画期間

第 2 期データヘルス計画の期間は、医療費適正化計画との整合性を図り、平成 30 年度（2018 年度）から令和 5 年度（2023 年度）までの 6 年間としています。計画書に記載の各保険事業について毎年、評価・改善を行うとともに、中間年度である令和 2 年度（2020 年度）には計画全体の評価を実施します。

3 第 2 期データヘルス計画の目的・目標

第 2 期データヘルス計画では、健康課題に対応した目的・目標を次のとおり設定しています。

目 的	目 標
がん・循環器疾患・糖尿病性腎症重症化予防等生活習慣病の発症予防	○特定健康診査受診率の向上 ○特定保健指導実施率の向上 ○生活習慣の改善
がんの予防と早期発見	○がん検診受診率の向上 ○がん予防の普及・啓発
医療費の伸びを抑制	○医療費等に対する認識の向上 ○ジェネリック医薬品普及率の向上 ○重複・頻回受診者の実態把握 ○地域包括ケアの推進

第2章 第2期データヘルス計画の中間評価

1 松阪市の人口と国民健康保険加入者数の推移

平成29年度から平成31年度（令和元年度）までの松阪市の人口と国民健康保険加入者数、人口に対する国保加入割合は以下のとおりです。国保加入割合はゆるやかな減少が続いています。

4月1日時点 国民健康保険加入者数

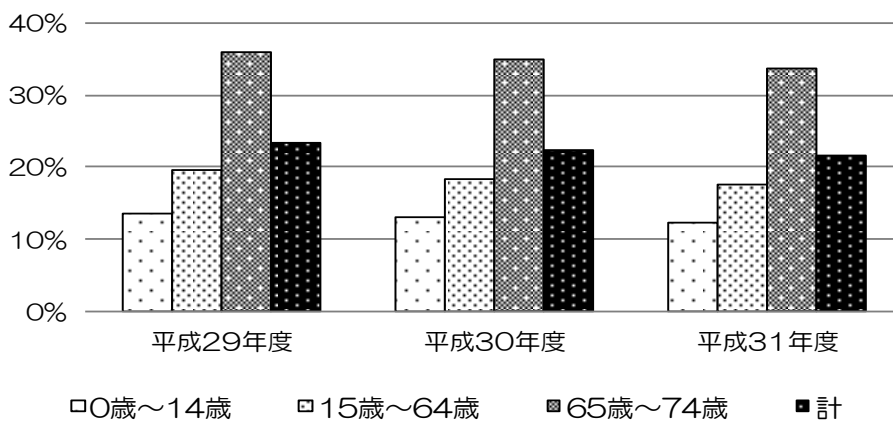
	(人)			
	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳～74歳	計
平成29年度	2,890	18,989	16,816	38,695
平成30年度	2,726	17,737	16,569	37,032
平成31年度	2,547	16,779	16,139	35,465

4月1日時点 松阪市人口

	(人)				
	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳～74歳	(参考) 65歳以上	計
平成29年度	21,463	97,492	46,963	22,825	165,918
平成30年度	21,012	96,486	47,542	22,903	165,040
平成31年度	20,662	95,544	47,883	22,673	164,089

4月1日時点 人口に対する国保加入割合

	(%)			
	0歳～14歳	15歳～64歳	65歳～74歳	計
平成29年度	13.47%	19.48%	35.81%	23.32%
平成30年度	12.97%	18.38%	34.85%	22.44%
平成31年度	12.33%	17.56%	33.71%	21.61%



※松阪市ホームページより

※平成31年度（令和元年度）の人口・国民健康保険加入者数は平成31年4月1日時点の数字のため、「平成31年度」と表記しています。

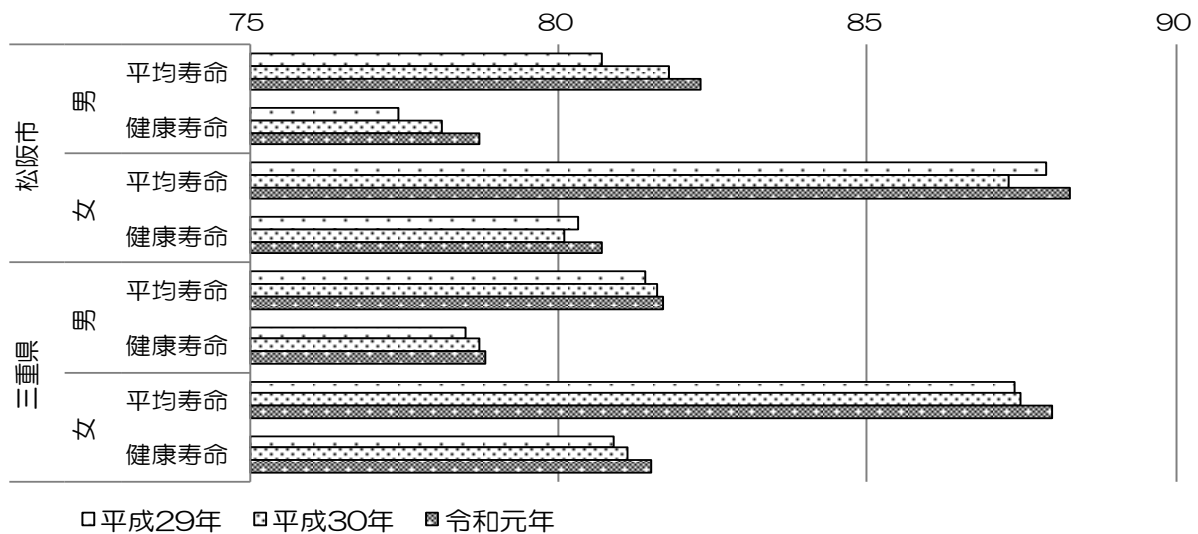
2 松阪市の平均寿命と健康寿命

松阪市の平均寿命と健康寿命の差は、平成29年から令和元年までの間を通じて、三重県の平均寿命と健康寿命の差より長くなっています。

平均寿命と健康寿命

(年)

	松阪市				三重県			
	男		女		男		女	
	平均寿命	健康寿命	平均寿命	健康寿命	平均寿命	健康寿命	平均寿命	健康寿命
平成29年	80.7	77.4	87.9	80.3	81.4	78.5	87.4	80.9
平成30年	81.8	78.1	87.3	80.1	81.6	78.7	87.5	81.1
令和元年	82.3	78.7	88.3	80.7	81.7	78.8	88.0	81.5



※三重県庁ホームページ 三重県医療保健部健康推進課 「三重県の健康寿命」より

「健康寿命」は、「日常的に介護を必要とせず、自立して心身ともに健康的な日常生活を送ることができる期間」としています。

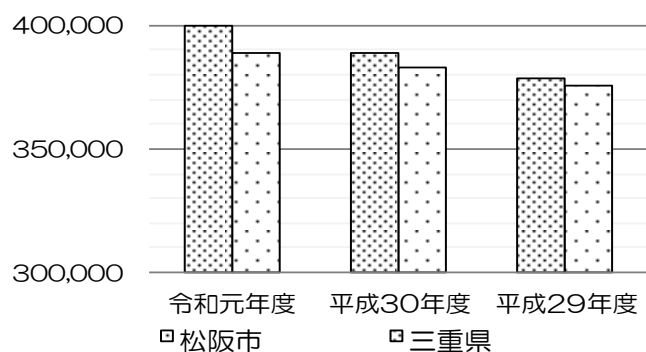
3 松阪市の医療費

松阪市の一人当たり医療費は、平成29年から令和元年までの間を通じて、三重県の一人当たり医療費より少なくなっています。

1人当たり医療費

(円)

	松阪市	三重県
平成29年度	375,411	378,517
平成30年度	383,050	389,065
令和元年度	388,887	399,542



※「三重県における国民健康保険事業の実態」より

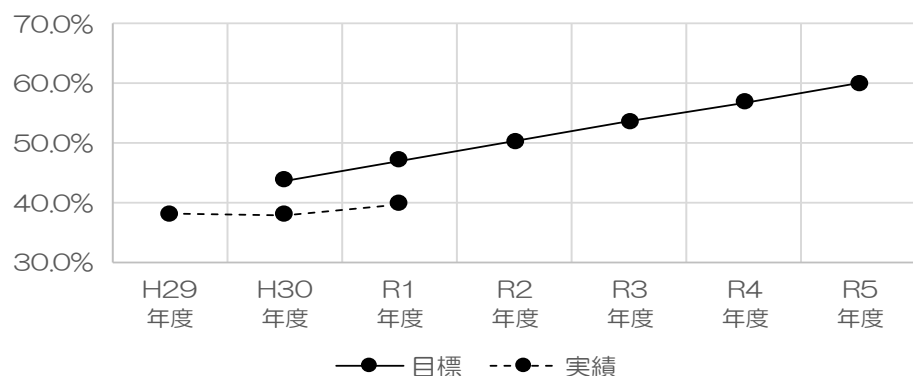
第3章 保健事業の取組と中間評価

1 特定健康診査未受診者対策事業

(1) これまでの取組と評価

- ・概要 第3期松阪市特定健康診査等実施計画に基づき、受診率向上に向けた取組みを推進する。
- ・目標・実績（受診率）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		43.7%	47.0%	50.2%	53.5%	56.7%	60.0%
実績	38.0%	37.9%	39.7%				



・実施内容

① 特定健康診査の周知・啓発

特定健康診査の実施についての情報を広報まつさか、松阪市ホームページ等に掲載しました。

また、市内公共施設、医療機関、調剤薬局等でポスターを掲示するとともに、市役所窓口でパンフレット・チラシ等の配布を行いました。

② 協賛事業者からの特典

特定健康診査受診者に対しカテキン緑茶の進呈、ならびにスポーツクラブ等の施設無料体験を実施しました。

③ 未受診者への勧奨通知

9月～10月に未受診者全員への勧奨通知を送付しました。

また、12月に40歳・50歳・59歳の未受診者に対し、再度勧奨通知を送付しました。

※令和元年度 勧奨通知送付件数
10月 22,537件
12月 819件

④ コールセンターからの電話勧奨

未受診者のうち若年層に対し、電話による直接的な働きかけを実施しました。

※令和元年度 電話勧奨件数 970件

⑤自己負担額の無料化

令和元年度より、特定健康診査自己負担額を無料化しました。

- ・課題 40代～50代の受診率が低い。

(2)目標実現に向けた取組

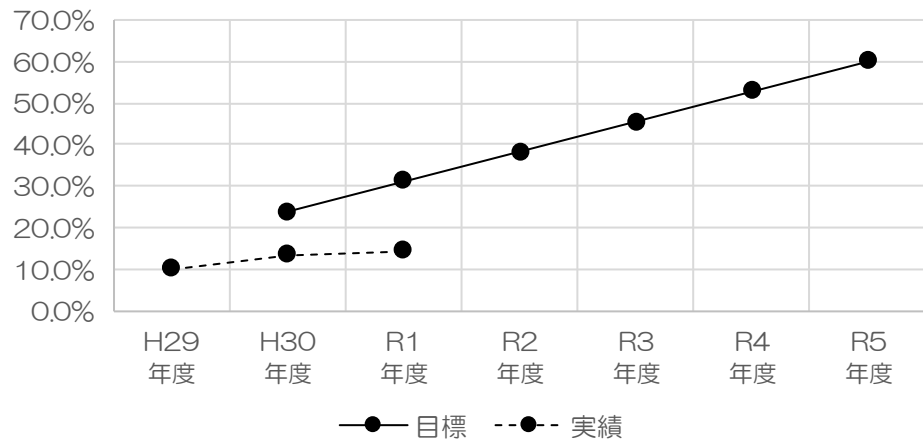
受診率の向上に向けて、特定健康診査の必要性を理解してもらえよう周知に努め、特に40代～50代に対しての健康意識の向上を目指します。

2 特定保健指導事業

(1)これまでの取組と評価

- ・概要 第3期松阪市特定健康診査等実施計画に基づき、実施率向上に向けた取組を推進する。
- ・目標・実績（実施率）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		23.8%	31.1%	38.3%	45.5%	52.8%	60.0%
実績	10.1%	13.4%	14.4%				



- ・実施内容
 - ①文書案内と勧奨の実施

特定健康診査結果から特定保健指導対象者を抽出し、文書案内と訪問・電話勧奨により面接や電話等による保健指導を実施しました。

※令和元年度 保健指導利用者数 157人
 - ②健康講座の実施

保健指導対象者に対し、運動編・食事編・医師講演会等の講座を実施しました。

※令和元年度 運動編 6回実施（11月～3月）
食事編 5回実施（11月～2月）

医師講演会 1回実施（2月）

- ・課題 未利用者に対する訪問での勧奨を強化したことにより、実施率が伸びているが目標とする実施率や県の平均には達していない。
特に40代～50代の利用率が低い。

(2) 目標実現に向けた取組

実施率の向上に向けて、利用率の低い40代～50代が中心となる働き世代が利用・継続しやすい体制の構築を目指します。

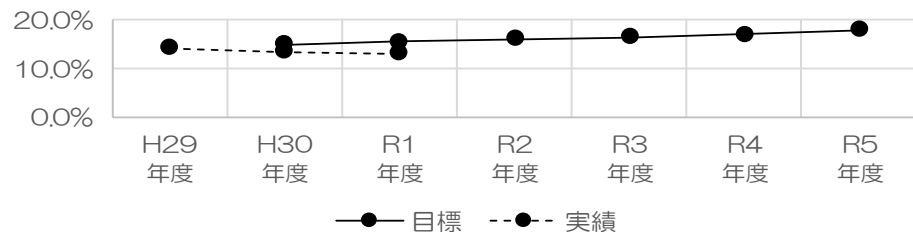
3 がん予防の普及・啓発事業

(1) これまでの取組と評価

- ・概要 がんの早期発見・早期治療に向け、がんの病態や予防について啓発し、がん検診の受診率向上に向け取組みを推進する。
- ・目標・実績（受診率）

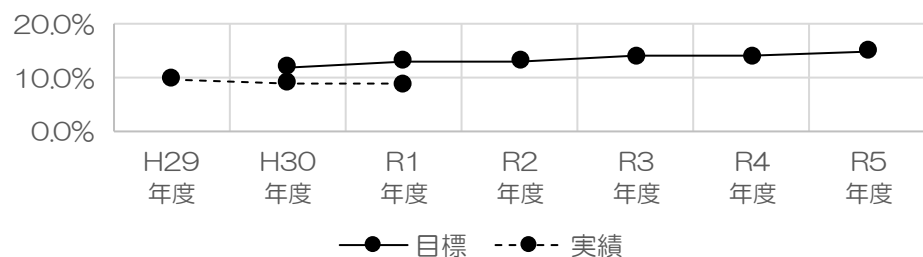
胃がん（50～69歳）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		15.0%	15.5%	16.0%	16.5%	17.0%	18.0%
実績	14.2%	13.5%	13.0%				



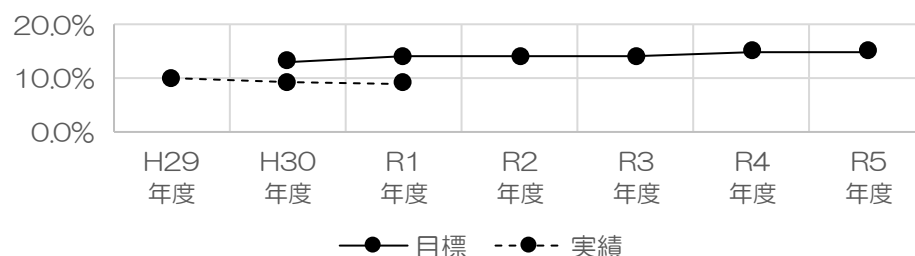
肺がん（40～69歳）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		12.0%	13.0%	13.0%	14.0%	14.0%	15.0%
実績	9.7%	9.0%	8.7%				



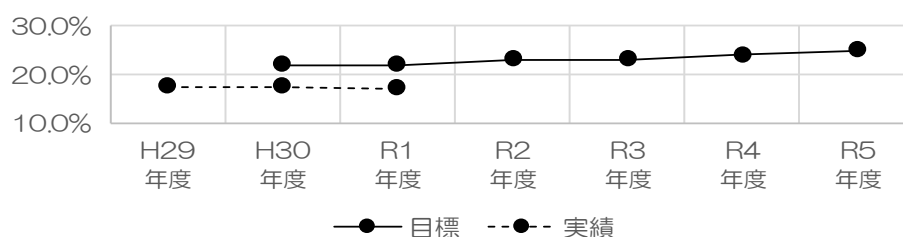
大腸がん（40～69歳）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		13.0%	14.0%	14.0%	14.0%	15.0%	15.0%
実績	9.8%	9.1%	8.9%				



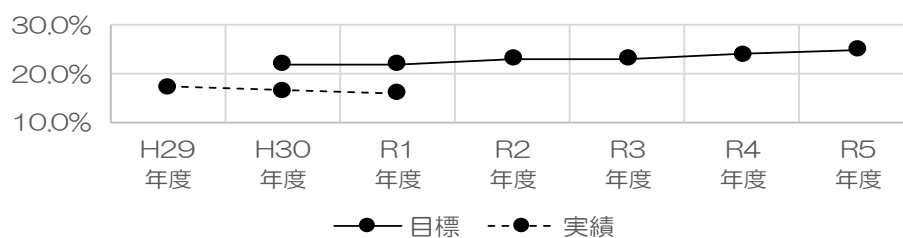
乳がん（40～69歳）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		22.0%	22.0%	23.0%	23.0%	24.0%	25.0%
実績	17.5%	17.5%	17.0%				



子宮頸がん（40～69歳）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		22.0%	22.0%	23.0%	23.0%	24.0%	25.0%
実績	17.3%	16.5%	16.0%				



・実施内容

①検診しやすい体制の構築

本庁会場で実施する集団検診について、インターネット予約可能な検診項目を拡充しました。

※令和元年度 追加項目 胃がん、肺がん、大腸がん
継続項目 乳がん、子宮頸がん

また、主に女性をターゲットに、検診しやすい体制を整備しました。

※令和元年度 休日検診の実施（集団検診）
託児つき検診の実施（集団検診）
限定優待検診項目に乳がん（エコー）を追加

②松阪市マイレージポイントサービスと提携

松阪市マイレージポイントサービスにおいて、「がん検診（または特定健康診査）を受診する」ことを、サービスを受けるための必須項目としました。

※松阪市マイレージポイントサービスとは、がん検診・特定健康診査受診をはじめとして、健康教室等への参加や自らの健康目標達成等により所定のポイント以上を獲得すると、県内協力店で特典を受けることができるサービスです。

- ・課題 40歳の対象者についてはがん検診が無料となる限定優待検診を送付しているため受診率が高いが、それ以降の受診率が低いため、継続的な受診に結び付いていない。

(2)目標実現に向けた取組

がん検診の周知・啓発活動を継続するとともに、インターネット予約の整備や受診しやすい検診会場づくりをこれまで同様、推進します。

4 糖尿病性腎症重症化予防事業

(1)これまでの取組と評価

- ・概要 特定健康診査の結果及びレセプトから、糖尿病及び糖尿病性腎症の重症化の予防が必要と思われる被保険者に対し、かかりつけ医等関係機関と連携を図り、受診勧奨や保健指導を実施することにより、糖尿病への進展及び糖尿病管理の徹底を行い、合併症である腎不全、人工透析への移行を防止、又は遅らせることを目的に実施する。
- ・目標 受診勧奨実施率 令和5年度 100%
- ・実績 受診勧奨実施率 令和元年度 100%
受診率（※） 令和元年度 28.6%
※糖尿病性腎症重症化予防事業対象者のうち、受診勧奨実施後に受診した対象者の割合
- ・実施内容 ①受診勧奨の実施
前年度・前々年度特定健康診査受診結果から、糖尿病性腎症重症化の予防が必要と思われる方に対し、受診勧奨を実施しました。
※令和元年度 受診勧奨通知発送件数
治療中断・未治療者 161件

特定健診未受診者 24件 計 185件

また、受診勧奨実施後に電話勧奨を実施し、対象者の受診を促しました。

※令和元年度 電話勧奨実施件数 72件

※令和元年度 勧奨通知発送後受診者数 53人

受診率 28.6%

- ・課題 受診勧奨については数値目標を設定し、対象者全員に実施しているが、受診率についての数値目標が設定されていない。

(2) 目標実現に向けた取組

受診勧奨について、これまでどおり対象者全員への勧奨通知発送を継続して実施していきます。

5 COPD（慢性閉塞性肺疾患）予防事業

(1) これまでの取組と評価

- ・概要 広く市民へ COPD 予防の重要性について啓発し、COPD の認知度を高め、COPD を予防するためのアプローチを行うとともに、医療費の伸びの抑制を図る。

- ・実施内容 ①健康講座の開催

松阪市民病院呼吸器センターと共同で康講座を実施しました。

※令和元年度 講座実施回数 5回

参加人数 221人

- ・課題 数値による効果の把握、検証、評価が困難。

(2) 目標実現に向けた取組

数値による効果の把握、検証、評価が困難なため、データヘルス中間評価の対象から除外した。

6 医療費通知事業

(1) これまでの取組と評価

- ・概要 被保険者の医療費等に対する認識を深めるため、厚労省通知（昭和55年）に基づき実施する。

- ・実施内容 ①医療費通知の発送

全医療受診者に年 3 回、柔道整復を含む年間診療分について、受診年月、受診者名、医療機関名、入院・通院の別、入院等日数、医療費の額を通知しました。

※令和元年度 医療費通知発送件数 7月 20,219件

11月 19,775件

2月 19,489件

- ・課題 数値による効果の把握、検証、評価が困難。

(2) 目標実現に向けた取組

数値による効果の把握、検証、評価が困難なため、データヘルス中間評価の対象から除外した。

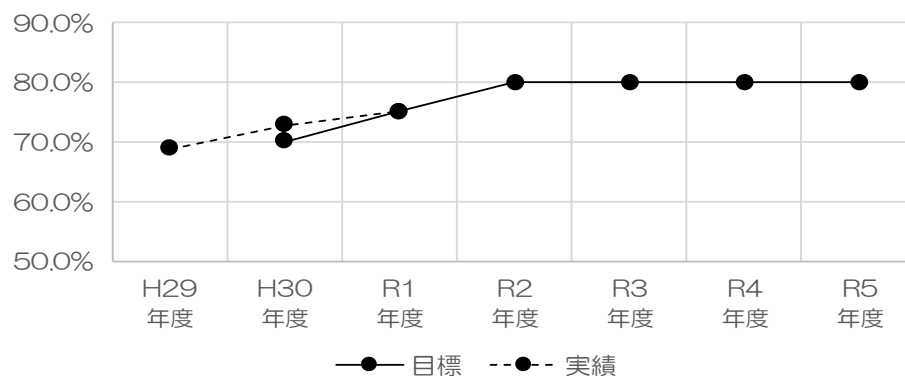
7 ジェネリック医薬品普及促進事業

(1) これまでの取組と評価

・概要 被保険者に対し、先発品と同等の効果を持ち、かつ安価であるジェネリック医薬品の使用を推進する。

・目標・実績（数量シェア）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		70.0%	75.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%
実績	68.8%	72.7%	75.0%				



・実施内容 ①ジェネリック医薬品へ切り替えた場合の差額通知を発送
処方実績とジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額を比較し、差額の通知を行いました。

※令和元年度 差額通知発送件数 8月送付分 1,205件
2月送付分 1,118件

②ジェネリック医薬品の啓発

国民健康保険証更新時にジェネリック医薬品についてのパンフレットとジェネリック医薬品希望カードを配布しました。

・課題 特になし。

(2) 目標実現に向けた取組

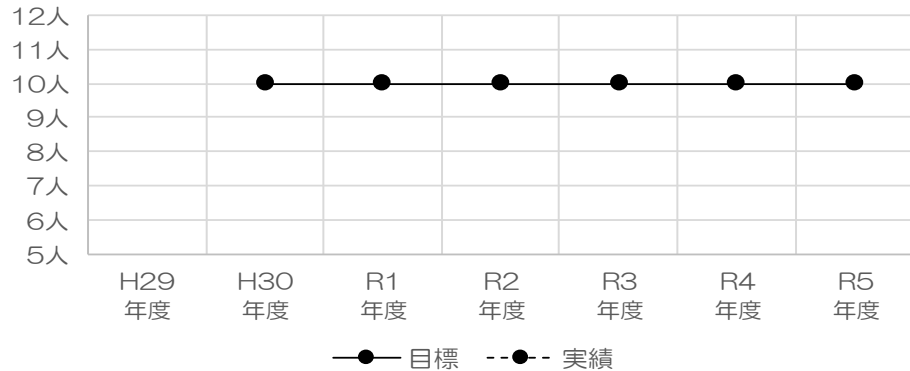
これまでと同様に、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知の発送および啓発を中心として取組を継続していきます。

8 重複・頻回受診者の適正受診指導

(1) これまでの取組と評価

- ・概要 医療機関受診において、同一診療科を重複または頻回受診している被保険者に対し、必要な保健指導を行うことにより、受診者の健康保持と早期回復を目指すとともに、医療費の適正化を図る。
- ・目標・実績（実施人数）

	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
目標		10人	10人	10人	10人	10人	10人
実績	※	※	※				



※実績について、平成29年度から令和元年度間は受診指導には至っていないため、表・グラフへの表記はされていない。

- ・実施内容 ①重複・頻回受診者の抽出
レセプトデータから重複や頻回の受診傾向がある対象者を抽出する。
※令和元年度 重複受診対象者 35名
頻回受診対象者 52名
- ・課題 多岐に渡るステークホルダーとの調整、協議のうえで重複・頻回受診者への適正受診指導を行うための具体的な指導方法がわからない。

(2) 目標実現に向けた取組

重複・頻回受診者に向けての適正受診指導について方法を検討し、実施していきます。

9 健康づくりイベントでの啓発

(1) これまでの取組と評価

- ・概要 健康関連イベントに参画・補助し、市民への健康づくりの啓発の機会とする。
- ・実施内容 ①健康関連イベントへの参画・補助
6月開催の「歯と口腔の健康まつり」、9月開催の「健康フェスティバル」において健康づくりの啓発を実施しました。
※令和元年度 イベント参加者数

歯と口腔の健康まつり 1,850人

健康フェスティバル 3,500人

- ・課題 数値による効果の把握、検証、評価が困難。

(2) 目標実現に向けた取組

数値による効果の把握、検証、評価が困難なため、データヘルス中間評価の対象から除外した。

編集・発行

〒515-8515

三重県松阪市殿町 1340 番地 1

松阪市健康福祉部保険年金課

電話：0598-53-4043

FAX：0598-26-9113